

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【公開番号】特開2005-298522(P2005-298522A)

【公開日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2005-042

【出願番号】特願2005-188527(P2005-188527)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/12 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00 Z N A

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 1/12

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 37/02

C 0 7 K 7/06

C 0 7 K 14/705

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月12日(2007.1.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

P A R - 2 を活性化させる成分を含むことを特徴とする胃酸分泌抑制用組成物。

【請求項2】

P A R - 2 を活性化させる成分を含むことを特徴とする消化管粘液分泌促進用組成物。

【請求項3】

P A R - 2 を活性化させる成分を含むことを特徴とする消化管粘膜保護用組成物。

【請求項4】

P A R - 2 を活性化させる成分を含むことを特徴とする、消化器系疾患の予防、治療用組成物。

【請求項5】

消化器系疾患が、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃炎、下痢および腸炎から選択される疾患である請求項4記載の組成物。

【請求項6】

成分がペプチドである請求項 1 ~ 5 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 7】

成分がタンパク質である請求項 1 ~ 5 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 8】

P A R - 2 を活性化させる成分として Ser-Leu-Ile-Gly-Arg-Leu-NH<sub>2</sub> (配列番号 1) および trans-シンナモイル-Leu-Ile-Gly-Arg-Leu-オルニチン-NH<sub>2</sub> (配列番号 2) から成る群からなる少なくとも 1 種のペプチドを含むことを特徴とする、下痢または腸炎の予防、治療用組成物。

【請求項 9】

P A R - 2 を活性化させる成分としてトリプシンおよびトリプターゼから選択される少なくとも 1 種のタンパク質を含むことを特徴とする胃酸分泌抑制用組成物。

【請求項 10】

P A R - 2 を活性化させる成分としてトリプシンおよびトリプターゼから選択される少なくとも 1 種のタンパク質を含むことを特徴とする消化管粘液分泌促進用組成物。

【請求項 11】

P A R - 2 を活性化させる成分としてトリプシンおよびトリプターゼから選択される少なくとも 1 種のタンパク質を含むことを特徴とする消化管粘膜保護用組成物。

【請求項 12】

P A R - 2 を活性化させる成分としてトリプシンおよびトリプターゼから選択される少なくとも 1 種のタンパク質を含むことを特徴とする、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃炎、下痢または腸炎の予防、治療用組成物。

【請求項 13】

成分を失活化または分解する物質を阻害する物質を組み合わせる請求項 1 ~ 12 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 14】

成分を失活化または分解する物質を阻害する物質を併用する請求項 13 記載の組成物。

【請求項 15】

成分を失活化または分解する物質を阻害する物質を配合する請求項 13 記載の組成物。

【請求項 16】

阻害する物質がペプチダーゼインヒビターである請求項 13 ~ 15 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 17】

徐放化製剤、局所適用製剤、薬物放出制御製剤、腸溶性製剤および胃溶性製剤よりなる群から選択される D D S 製剤とされる請求項 1 ~ 16 いずれか 1 項記載の組成物。